

海上の森自然観察会

テーマ スミレの仲間を観察しよう

日時 2014年4月19日(土)10:00~14:45(晴)

参加者 一般:4名(子ども0) 指導員:9名

コバノミツバツツジをはじめさまざまな春の花が咲いています。ウグイスやセンダイムシクイの声を聞きながら、ハルリンドウを見に屋戸湿地に向かいました。

今日のテーマはスミレの仲間の観察なので、注意して観察することにしました。駐車場から歩き出して最初に出会ったのは小さな白い花をつけたニオイスマレでした。続いてニオイタチツボスマレとタイチツボスマレがありました。よく似た兩種ですが、花の中央部の鮮やかさ、花茎の微毛の有無、匂いなど違いをじっくり見比べました。でした。スミレの仲間では、ほかにアオイスマレ(花はなし)、フモトスマレ、スマレ、マキノスマレの花が見られました。

湿地ではハルリンドウがちょうど見ごろでした。今年は花つきがよかったシデコブシは1週間前には花が残っていましたが、今日はすべて散っていました。

オオカメノキも花はほぼ終わっていましたが、昼食をとった赤池の畔ではまだ咲いている株もありました。樹の花は場所によって開花時期がずれるようで、ウワミズザクラやマルバアオダモもまだ蕾の所としっかり咲いている所がありました。

今日のコースでは、三角点付近でギフチョウが見られるかと

期待したのですが、ナミアゲハやテングチョウは飛んだものの、ギフチョウは出ませんでした。物見山コースでは南山高校の生徒がギフチョウの調査をしていましたが、話を聞いたところ、ここ3年間ギフチョウは出ていないということでした。

先月、ヒキガエルの卵塊があった水たまりでは、ちいさなおタマジャクシが動いていました。この時期、生き物の変化が速く感じられますね。(齋竹善行)

【その他見られたもの】

鳥:ヒヨドリ、メジロ、エナガ、ヤマガラ、コゲラ、イカル(声)、オオルリ、ソウシチョウ(声)、ハシブトガラス、ツグミ、モズ、サンショウクイ(声)

昆虫:ナミアゲハ、キアゲハ、テングチョウ、ベニシジミ、トラフシジミ、ウラギンシジミ、ヒトリガ(幼)、ヒメウラナミジャノメ、モンシロチョウ、ツマキチョウ、ミヤマセセリ、クロコノマチョウ、イカリモンガ、ヤママユ(幼)、シオヤトンボ、イトトンボ sp、ハンミョウ、ニワハンミョウ、クマバチ、ビロードツリアブ

植物:(花)アセビ、ムラサキサギゴケ、クサノオウ、ミツバアケビ、シュンラン、チゴユリ、サルトリイバラ、アオキ、ネコノメソウ、ニガイチゴ、オオウラジロノキ、ミヤマガマズミ、カスミザクラ、ヘビイチゴ、レンゲ、カラスノエンドウ、オオジシバリ、オオイヌノフグリ、アケビ、ザイフリボク、ノミノフスマ、カキドオシ、ニホンタンポポ、



(フモトスマレ)



(ハルリンドウ)



(観察会のようす)